

令和元年（ワ）第172号、同2年（ワ）第216号、同3年（ワ）第181号
違法行為差止請求事件

原告 和田廣治 外

被告 金井 豊 外

5

原告らの立証計画概要

2023年3月16日

富山地方裁判所民事部合議C係 御中

10

原告ら訴訟代理人弁護士 岩 淵 正 明



外

原告らは、別紙のと通りの立証を計画している。

15 別紙では、本件訴訟の立証対象・争点のうち、それに対応する証拠方法として、
専門家・学者の意見書及び人証を予定しているものの概要を列挙した。

以 上

立証対象・関連する争点	証拠方法の概要
<p>第1 損害</p> <p>1 回復することができない損害の意義</p> <p>2 事故発生時の損害の大きさ</p>	<p>専門家・学者の意見書</p> <p>専門家・学者の意見書</p> <p>人証：福島第一原発事故被害者</p>
<p>第2 本件原発の危険性</p> <p>1 原発事故の危険性（事故の可能性）</p> <p>1) 地震</p> <p>ア 基準地震動策定の誤り（震源を特定せず策定する地震動）</p> <p>基準地震動策定の誤り（震源を特定して策定する地震動）</p> <p>イ 重要度分類の誤り</p> <p>2 原発事故の危険性（損害の大きさ）</p> <p>1) 避難計画の不備</p> <p>3 被告らによる安全対策検討の不十分</p>	<p>専門家・学者の意見書</p> <p>専門家・学者の意見書</p> <p>専門家・学者の意見書</p> <p>専門家・学者の意見書</p> <p>人証：本件原発周辺住民</p> <p>検証：周辺自治体の避難訓練</p> <p>取締役会議事録（文書提出命令）</p>
<p>第3 本件原発の稼働コスト</p> <p>1 本件原発の稼働コストの大きさ</p> <p>2 被告らによるコスト検討の不十分</p>	<p>人証：大島堅一教授</p> <p>取締役会議事録（文書提出命令）</p>
<p>第4 被告らの対応</p> <p>本件原発の危険性、コスト等に対する被告らのこれまでの言動</p>	<p>人証：原告本人</p>